

塩

四年 13
 筆順 ナホヅ垢塩塩
 オン エン
 クン しお

成り立ち



皿の上に「しお」をもって、おおいをかけた形を表した「皿」に、塩をとる所の「塩田」を表した「土」をくわえて作った字です。米とともに、食生活に一番たいせつな「しお」を表した字です。

〔旧字体は「鹽」で、岩塩を袋に包んだ形を表した鹵と、監との形声字である。ケンの音のK音が脱落してエンとなった。監の音は、「塩からい」という意味の鹹と同音なので、鹹の意味を仮借したものであろう。〕

使い方

▽ぼくのおとうさんは、みそ汁が好きなのですが、高血圧なので、塩気をひかえています。みそ汁だけでなく、塩辛いものは、みんな食べるのをひかえていて、かわいそうです。

▽むかしの人は、よく、願かけということをしました。神様に願いごとをして、何か、好きなものを断ったりしました。塩断ちとか、茶断ちとかいって、塩気のあるものを口にしなければ、お茶を飲むのをやめたりしたのでです。

熟語例

- ▽塩気(塩味。塩からい味)
- ▽塩分(塩気。そのものにふくまれている塩の量。「塩分を取りすぎるのは、健康によくない」などというふう
- に、つかいます。)
- ▽塩田(海水中にふくまれている塩を取り出すために作った田)
- ▽食塩(食用の塩。海水や岩塩から取り出します。白い、細かい結晶の形をしています。調味料として、欠かせません。)

使い方

▽この広い宇宙には、何億という数の星があるのでそうです。

▽世の中には、巨億の富を持つ人々もいます。

熟語例

- ▽巨億(莫大な数。数えきれないほど大きな数)
- ▽巨万(非常に大きな数。「巨万の財産を築く」などというふう
- に、使います。)
- ▽億兆(数えきれないほど大きな数)
- ▽億測(いいかげんな推測。「億測でものをいうのは危険だ」などというふう
- に、使います。この「億」は、「臆」という字のかわりに、使われています。なお、今は「億」も使います。)

億

四年 15
 筆順 億億億億
 オン オク
 クン

成り立ち



人が心の中で思う意味を表した「意(年25)」と、人の意味を表した「イ」とを組み合わせて作った字です。

「万」という大きな数の一万倍にあたる数は、一生かかっても数えきれないほどの大きな数ですから、実さいには使われないで、「心の中だけで思う数」であるという意味で「億」の字でこれを表しました。

けれども、今では「億」という数が実さいに使われているばかりか、その一万倍にあたる「兆」という数さえ使われるようになりました。